



できごと

今年2月に、掛川市立図書館のボランティアの皆さんが、県立中央図書館と子ども図書研究室の見学にいらっしゃいました。

県立中央図書館についての説明、館内見学の後、子ども図書研究室へ移動し、子ども図書研究室の説明を担当職員が行いました。20名を超す参加者の皆さんは、熱心に館内、研究室内を見学されていました。

これまでも、島田市立図書館ボランティアや静岡市立中田小学校、焼津市みなと幼稚園、静岡県立中央養護学校などから来館されています。裏面では、これまでの見学の様子や参加者の感想などをご紹介します。

子ども図書研究室のテーマ展示

ただいま展示中です！

「原爆の本」

子ども図書研究室講演会関連資料

新着図書も常時展示中です。

イベント情報

静岡県子ども読書フェスティバル

日時：平成19年8月5日(日)

10:30～15:00(受付：10:00～13:00)

- ・自然と遊ぼうよ (10:30～12:00)
- ・ワークショップⅠ、Ⅱ (11:00～15:00)
- ・講演：「ゆうだち」と「子ども」と「作家」の気持ち
講師：阿部肇氏 (13:00～14:30)

会場：静岡県立中央図書館

主催：静岡県読み聞かせネットワーク

参加費：無料

申込先：静岡県読み聞かせネットワーク 飯野紀代子

TEL&FAX 054-245-5843

新着資料から

絵本

『としょかんライオン』



ミシェル・ヌードセン / さく

ケビン・ホークス / え

福本 友美子 / やく

岩崎書店

2007年4月

ある日、図書館にライオンがやってきた。みんなは大慌て。メリウェザー館長はライオンに、静かに行儀よくできれば図書館にいてもいいと言う。図書館の決まりを守るようになったライオンは、仕事の手伝いもするようになり、すっかり図書館の人気者になった。

しかし、ある日、メリウェザー館長の大怪我を知らせるため、大きな声でほえてしまい……。

優しいタッチの絵と温かみのある物語が、図書館とライオンという組み合わせを、違和感無くまとめている。【4、5歳から】 (渡辺勝)

知識

『とろーりあまい! はちみつ』



どうやってできるの?

ものづくり絵本シリーズ 2

小野 正人 / 監修

チャイルド本社

2007年5月

ホットケーキに欠かせないあまーいはちみつ。何から出来ているのかな? みつばちの巣の様子や、養蜂家の仕事など、はちみつの秘密を、ハニーという名前の女の子と一緒に見に行く。

かわいらしいイラストを中心に、写真を効果的に使用。文章も分かりやすく、活字の大きさを変えることで視覚にも訴えかけている。

1巻の『みんなだいすき! チョコレート』と同時刊行。続巻では石鹸、パンツが取り上げられ、少し変わった視点が楽しみなシリーズ展開となっている。【小学校低学年から】(鈴木由)

グループ・団体による 視察・見学などのご利用について

子ども図書研究室は、これまでも、子どもと子どもの本をつなぐ活動をされている団体の皆さんに見学をしていただいています。例えば、県外や県内の図書館職員、幼稚園や小学校の保護者や読み聞かせボランティアのグループ、図書館協議会委員、学校司書・司書教諭の方々などですが、見学ばかりでなく、選書の時間を取ったり、時には簡単な読み聞かせ講座などを組み合わせることもあります。

掛川市立図書館ボランティアの方々の見学当日は、他の見学先も回られる予定で、県立中央図書館全体で約1時間程度の見学時間でした。

子ども図書研究室は平成16年6月18日に、子どもと子どもの本をつなぐ活動をする大人の方を支援する目的で開室したこと、平成15年度からは出版されているほとんどすべての児童書を購入していること、基本的に個人貸出はしていないが、県内市町立図書館までは貸出ができることなどをはじめにご説明し、続いて、研究室内、また、昨年度から開架として自由にご覧いただけるようになった子ども図書研究室書庫内を、見ていただきました。

参加者の皆さんの多くが興味を持って質問されるのは、大型絵本や展示資料についてです。大型絵本の貸出方法について質問があり、最寄の図書館を窓口として協力貸出ができることをご説明すると、大型絵本のリストをお持ち帰りになる方が多くありました。

参加者の感想のご紹介
「日頃本に囲まれていながら、こんなにじっくりと本に接する機会があったらうかとしみじみ思いました。「子ども図書研究室」の存在すら知らなかった私ですが、そこが大人のための研究室であったことに深く心を動かされました。」

た。清水達也先生もおっしゃっていましたが、まず大人が子どもの本をよく知らなければ、子どもと良書を出会わせることはできないんですよ。しかも他者が選定したものでなく、自分で見て読んで選ぶことが大切なのだと実感しました。」

子ども図書研究室のご利用方法
子ども図書研究室は、個人の方でももちろんご利用いただけます。

開室時間は県立中央図書館開館日の午前9時から午後5時まで。毎週火曜日から金曜日の午後2時から5時までは職員が在室し、自由にお入りいただけます。それ以外の曜日、時間帯は、2階の総合案内カウンターへお申し出ください。入室の際に貸出カードをお預かりします。

利用していただけるのは、中学生を除いた15歳以上の方となります。お子さんは、大人の方とご同伴でもご利用いただけませんので、ご了承ください。

お問合せは、静岡県立中央図書館資料課（電話054-262-1243）まで。

所蔵資料から

知識 『びっくり飛び出すミイラの絵本』



デビッド・ホーコック / 作
ニック・ワットン / イラスト
クレア・バンプトン / 文
創元社
2006年10月

掛川市立図書館ボランティアの方々による見学時、新着図書として展示してある中で最も話題になった図書。

本を開くと、1.5メートルもの大きさのミイラが現れる。マスクを取って（めくって）頭蓋骨を見ることもでき、臨場感あるしかけとなっている。豊富な写真と共に、ミイラに関する様々な知識も得られる。【小学校高学年から】

（鈴木由）

*表紙画像はすべて出版社の許可を得て掲載しています。